

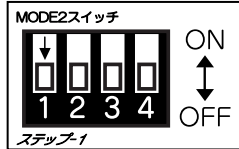
ボンネットスイッチ(別売)の取り付け

ボンネットスイッチを取り付けることにより、ボンネットが開いているときは、リモコンでエンジン始動しないようにすることが出来ます。エンジンルーム内の各種作業を行う際の安全を確保します。

メモ ボンネットスイッチ接続用のエレクトロタップは、同梱されていません。エレクトロタップを別途用意して下さい。エレクトロタップは、自動車用低電圧線(AV線)0.5mm²サイズ適応品を使用して下さい。

ステップ 1 Guardog V-1/V-2本体のMODE 2スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をOFFにします。

すでに付属の安全センサーケーブルが、エンジンスターターキット本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。



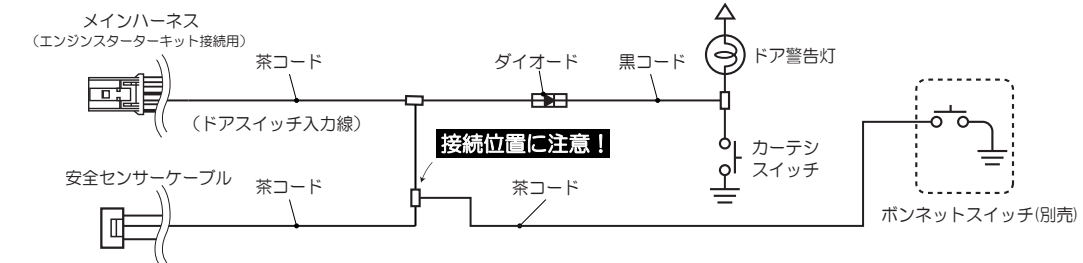
ステップ 2 ボンネットスイッチを取り付けます。

ボンネットスイッチの取付・取扱説明書に従って、取り付けして下さい。

ステップ 3 ボンネットスイッチの茶コードを接続します。

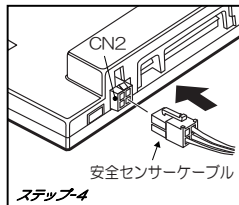
注意 エレクトロタップで配線する際は、エレクトロタップのカバーを確実にロックして下さい。エレクトロタップの金属部分が車体の金属部分に接触するとショートし、火災・故障の原因となります。テーピングすることをお奨めします。

ボンネットスイッチの茶コードを安全センサーケーブルの茶コードにエレクトロタップで接続します。

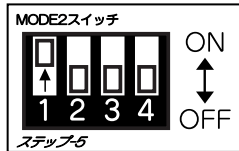


ステップ 4 エンジンスターターキット本体へ接続します。

エンジンスターターキット本体の安全センサーケーブル差込口(CN2)へ安全センサーケーブルのコネクターを差し込みます。



ステップ 5 Guardog V-1/V-2本体のMODE 2スイッチメニューの1「EGS パワースイッチ」をONにします。



ステップ 6 ボンネットを開けた状態で、リモコンでエンジンが始動しないか確認します。

①車のドアを閉め、ボンネットを開けた状態にして下さい。

②リモコンでエンジンが始動しないことを確認して下さい。

メモ 残光式ルームランプ付き車は、ドアを開けてルームランプが完全に消灯してから数秒後にリモコンでエンジンを始動して下さい。

ステップ 7 配線したハーネス類を整理します。

警告 ハーネス類などは、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。

注意 配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンドなどで確実に固定して下さい。また車のカバーや内張りなどで配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。

注意 接続していない端子部は、ビニールテープなどで絶縁処理して下さい。ショートし、火災・故障の原因となります。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや付属の結束バンドなどを使用して、確実に固定して下さい。

故障かな?と思ったら

このような時	チェックしてください	処 置	参照ページ
リモコンは送信するがエンジン始動せず、「E2」エラー表示になる。	アンテナユニットのハーネスがエンジンスターターキット本体の通信ハーネス差込口(CN5)に接続されているいませんか?	接続先を確認して下さい。アンテナユニットのハーネスがエンジンスターターキット本体の通信ハーネス差込み口(CN5)に接続されている場合は、通信出来ません。	18
どとどが交互に点滅表示。	【車種別専用ハーネス「D481」の場合】中継ハーネス(3Pコネクターの内の黄コード)は、正しく配線されていますか?	配線先を確認して下さい。黄コードが正しく配線されていないと、エンジンスターターキットの機能を使用しない期間が約14日間経過すると、必ずスリープモード1またはスリープモード2に入り、リモコンでの操作が出来なくなります。	17
	ヒューズが切れていませんか?	ヒューズ切れの要因を解決してから、ヒューズを交換して下さい。	—
リモコンは送信するがエンジン始動せず、「E3」エラー表示になる。	オートマチック車の登録はされていますか?	オートマチック車の登録がされているか確認して下さい。バッテリーを外したり、中継ハーネスおよび車種別専用ハーネスの黒コード(アース線)を外した場合は、オートマチック車の再登録が必要です。	19
どとどが交互に点滅表示。	バッテリー端子を外したり、バッテリー交換を行いましたか?	【オートマチック車の登録有無の確認方法】Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチメニューの1「EGS/パワースイッチ」をOFF→NOにすると、エンジンスターターキット本体から下記ブザー音が鳴ります。 ①「フッ フッ フッ」 :登録されています。 ②「ブーブー ブーブー…」 :登録されていません。	
	ヒューズ交換、車種別専用ハーネスとのカプラー脱着およびアース線(黒コード)の再接続を行いましたか?		
	Guardog V-1/V-2本体のMODE2スイッチの1「EGS/パワースイッチ」がOFFになっていませんか?	MODEスイッチをONにして下さい。	7
	Guardog V-1/V-2本体のMODEスイッチ2の2「EGS機能設定」がONになっていませんか?	MODEスイッチをOFFにして下さい。	7
	複数登録されたリモコンで操作していませんか?	エンジンの始動/停止が行えるリモコンは、一番最初に登録したリモコン「No.1」のみです。その他のリモコン操作では、Guardog V-1/V-2本体が受け付けません。	8
	通信ハーネスが未接続あるいは断線していませんか?	確実に接続されているか、あるいは断線していないか確認して下さい。	18
	ドアが開いていませんか? (付属の安全センサーケーブルの配線を行った場合。)	ドアあるいはボンネットを開けて下さい。安全センサーケーブルのセンサーが働いていると、Guardog V-1/V-2本体受け付けません。	—
	ボンネットが開いていませんか? (ボンネットスイッチ(別売)を取り付けた場合。)		
	エンジンスターターキットでエンジン始動後、リモコン操作で再度エンジン始動操作をしていませんか?	エンジンスターターキットでエンジン始動後は、エンジン始動操作をGuardog V-1/V-2本体が受け付けません。	—
	エンジンキーがONになっていませんか?	エンジンキーを抜いて下さい。	—
リモコンでエンジン始動すると、メーターパネルは点灯するが始動しない。またはエンジンスターターキット本体から「ピーピーピー」と音がして停止してしまう。	車のシフトがPレンジ以外に入っていませんか?	シフトレバーをPレンジに入れて下さい。	—
	車のバッテリーが弱っていませんか?	車のバッテリーを点検し、正常な状態にして下さい。	—
	車種別専用ハーネスのアース線(黒コード)は車体の金属部へ確実に接続されていますか?	適切な場所に接続し直して下さい。	16
リモコンでエンジン始動操作をすると始動動作を行うが、エンジンはかからない。	オルタネーター(L端子)配線を行いましたか?	オルタネーター(L端子)配線を行って下さい。	22
	車のバッテリーが弱っていませんか?	車のバッテリーを点検し、正常な状態にして下さい。	—
リモコンでエンジン始動操作をしてもエンジンが始動せず、エンジンスターターキット本体から警告音「ピーピー…」が鳴り続ける。	車のシフトがPレンジ以外に入っていませんか?	シフトレバーをPレンジに入れて下さい。	—
	車種別専用ハーネスの品番は正しいですか?	店頭の「適応車種一覧表 EGSシリーズ Guardogシリーズ」最新版の、V-10の欄を再度確認して下さい。車の車種名・年式・型式を照合後、品番が正しい場合は、当社技術サービスまでお問い合わせ下さい。※警告音はエンジンキーをONにすれば停止します。	—